



酒田飽海の つや姫・雪若丸情報



活着は良好です！ 「つや姫」も「雪若丸」もこまめな水管理で

初期茎数をしっかり確保しましょう！

GW明けから天候に恵まれ、田植えはほぼ終了しました。「つや姫」「雪若丸」ともに活着も良好のようです。収量&品質の安定化には、こまめな水管理で、6月20日頃まで早めに有効茎を確保することが重要です。生育に合わせた水管理で必要な茎数をしっかり確保しましょう。

1 こまめな水管理が分けつ促進の基本

○分けつの発生に適する地水温は、25℃程度とされています。活着後は、分けつの発生を促進するために、地水温が上がりやすいよう浅水管理（水深2～3cm）を行うとともに、日較差を確保し生育促進を図るため、水管理は昼間止水、夜間灌漑とします。なお、強風や低温が続く時は、水深をやや深め（水深5cm程度）にして稲体を保護しましょう。6月10日の目標とする茎数は表のとおりです。

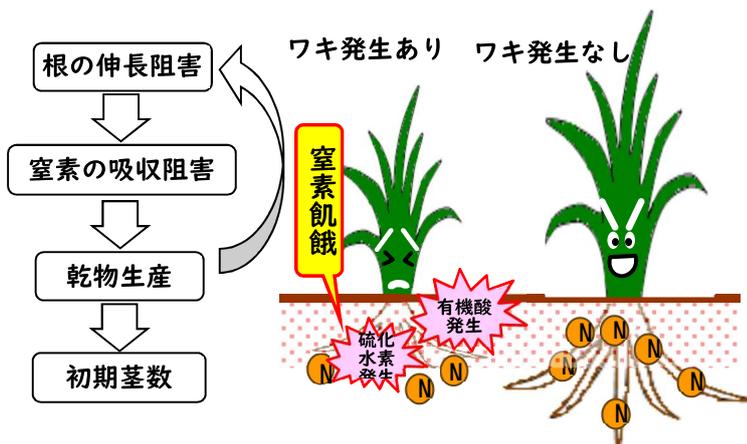
6月10日の生育指標

品種名	草丈	茎数	葉色 (SPAD)	葉齢
つや姫	27cm	250本/m ² (11.8本/株)	35	6.7 齢
雪若丸	26cm	280本/m ² (13.2本/株)	41	6.8 齢

茎数の()は70株植えの場合の株あたり茎数

2 分けつ発生を抑制する要因を除去

【田ワキ】近年は春先から高温傾向であり、今年も平年より気温が高く推移しています。5月初旬に田植えが行なわれた圃場の中には、田ワキが発生しているところもみられます。田ワキとは、図のとおり稲わらの分解に伴い有機酸や硫化水素が発生し、稲の根の窒素吸収力と根の伸長を抑制することです。



田ワキの程度ごとの対策については下記の表に整理してあります。地上部に影響が見えるころには、地下部のダメージはかなり大きく、立ち直るのにも時間がかかります。気温が高く日差しの強い日が続いた場合は、水田の様子を確認し、天気のおだやかな日をねらい、程度に応じた対策を講じましょう。

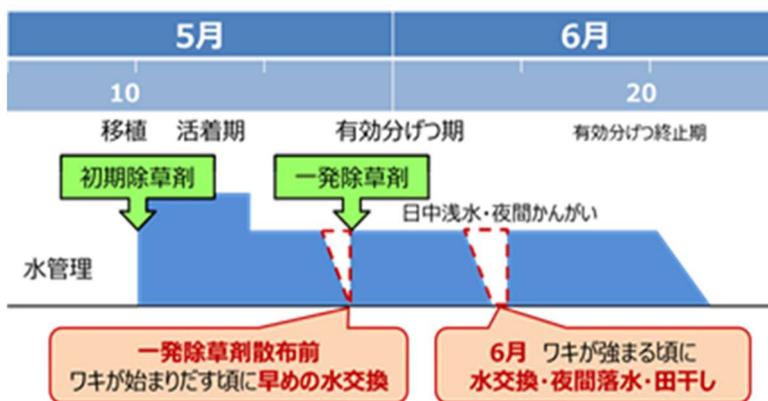
分けつ初期から中期のワキの程度と対策

ワキの程度	生育への影響	対策
水田に足を踏み込むとわずかに気泡の発生がみられる	なし	—
水田に足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	水交換
水田に足を踏み込むと盛んに気泡を発生する	根張り不良	夜間落水
晴天時自然に気泡を発生し、音が聞こえる	地上部黄化	田干し

【深水管理】初期からの深水管理は、茎数の増加を抑えます。地水温が上がりにくく日較差が小さくなると、稲の窒素吸収量が少なくなります。また、土壌からのアンモニア態窒素の発現も遅れ気味になります。本年の乾土効果の発現は“大”と想定されています。こまめな水管理でしっかり初期生育を確保しましょう。

3 除草剤処理前は水交換実施

これから一発除草剤を散布する場合は、処理前に必ず水交換を行きましょう。除草剤散布後のワキを予防する効果が期待できます。水交換や夜間落水には表層剥離や藻類等の発生を落ち着ける効果もあり、除草剤の散布・拡散ムラを防ぐ効果もあります。



ワキ対策の水管理と除草剤の散布時期のイメージ

つや姫・雪若丸現地検討会を開催します！

1 日時 令和5年6月16（金）午前10：00～11：30

2 検討圃場の場所及び日程

① 「雪若丸」（生育診断）酒田市前川（午前10：00～現地集合）

② 「つや姫」（生育診断）酒田市漆曽根（午前11：00～現地解散）

3 検討内容 今年の「つや姫」「雪若丸」の生育は？

現地圃場の生育状況を確認！スマートつや姫の取り組み紹介！

詳細や参加申込（6/10まで）は各JA、各米集荷事業者、又は酒田農業技術普及課へ問合せ下さい。



「春季農作業事故防止運動」展開中！ 4/10～6/10

「声かけあい、助けあい、農作業事故ゼロへ！」